

2017年度 学校関係者評価
報告書

学校法人滋慶学園
東京ベルエポック美容専門学校

学校法人 滋慶学園 東京ベルエポック美容専門学校

第1回学校関係者評価委員会議報告書

報告書作成者:関口 幸江

1. 開催日時 平成30年6月22日(金) 14:00~15:30
2. 開催場所 東京ベルエポック美容専門学校 第2校舎
3. 学校関係者評価委員

岡田 真澄【保護者代表】(欠席)
山元 健次郎(株式会社 髪師 代表取締役)【業界代表】(出席)
木下 美穂里(株式会社 ユミ・クリエイション)【業界代表】(欠席)
吉岡 百合子(日本イアーアート協会 代表理事)【業界代表】(出席)
遠藤 行巳(千葉商科大学付属高等学校 学校長)【高等学校関係者】(出席)
桜沢 紗枝【卒業生代表】(出席)
空田 真之(江戸川区葛西・西葛西メトロセンター会役員)【近隣関係者代表】(欠席)

学校側参加者

浮舟 邦彦(滋慶学園 理事長)
浮舟 洋子(東京ベルエポック美容専門学校 学校長)
片山 裕介(東京ベルエポック美容専門学校 副学校長)
山口 敦(東京ベルエポック美容専門学校 事務局長)
鈴木 絵理(東京ベルエポック美容専門学校 教務部長)
武田郁乃(東京ベルエポック美容専門学校 美容師科・美容師実践科学部長)
徳永麻衣子(東京ベルエポック美容専門学校 学生サービスセンター)

4. 会議の概要

- (1) 各委員ご紹介
- (2) 委嘱状交付 全委員授与
- (3) 2017年度自己点検・自己評価結果報告
及び2018年度重点目標の説明
- (4) 質疑応答及び審議

(自己点検評価・重点目標説明への意見)

意見1 働き方改革を受け、1年間の変形労働制を導入している。

- 意見 2 数年前から外注をしている。外注をすることにより仕事の質が向上し、目的意識をもって仕事し自分の成果となって返ってくるのでモチベーションも向上する。
- 意見 3 在学中は人間関係が重要、3年間という長い時間でお互いを理解でき卒業することができた。
- 意見 4 他の専門学校でも仲間外れになっている学生はいる。少し顔を合わせない間に人間関係がおかしくなっている場合がある。そういう学生同士をくっつけて人間関係を形成している学校もある。ひとりで孤立しているよりはいいのではないか。学校だけでなく職場でも同様にある。人間関係が苦手な人もいる。
- 意見 5 高等学校でも意見 4 のような話は増えている。カウンセラーに導いている。カウンセラーで対応困難な場合は産業医が医者立場から話をする。このようなケースが増えた。
- 意見 6 社員を受入れているが、新入社員に対しては距離感が大切だと感じる。
- 意見 7 修行時代、情報が少なく（ネットもなく）一つのことをつきつめて指導することを先輩たちから段階を得て教えてもらった。今は選択肢が多く、結局何の専門家にもなれていないことがあるのではないか。選択肢を選ぶ権利がある、挫折もしやすい、引く手あまた、自分で選択する力・我慢する力をつけさせてあげないと 10 年やっても何の専門科でもないことがある。
- 意見 8 情報が取りやすい環境である。人間関係で退学する学生が増えてきている。SNS というところでも入学前から友達とのやり取りや、情報がたくさん得られるメリットはあるがデメリットもある。
- 意見 9 4 月の段階で人間関係問題が起きている、クラスの組織運営をどうしていくか我々の課題だ。
- 意見 10 情報が満ち溢れているのに業界を知らずに入学する学生が多い、美容師になる経緯が分からない、業界のサロン情報が分からない状況だ。
入学してから少しずつ教えている。早くに情報を与えないと就職への行動に繋がらない。
- 意見 11 学生が変われば、学校も変わらなければならない。
- 意見 12 離職率と奨学金の返還率はセットだと考えている。当校でも奨学金の返還率が問題となっている。入学者の 6 割が奨学金を借りている。学生・保護者が奨学金の理解が希薄。当校ではマネーセミナーを開催している。

5. 次回開催予定日

2018 年 10 月 19 日(金)